

子牛の下痢、判断のめやす

子牛の下痢には、感染しない食餌性の下痢（配合を食べ過ぎる、濃度の濃いミルクを飲み過ぎる、給与量の変化などが原因）と、感染性の下痢（細菌、ウイルス、寄生虫、原虫が原因）の2つの要因に分けられます。食餌性の場合、糞の色はミルク色やこげ茶色ですが、感染性の下痢便には早めの発見、早めの対策が必要のため、下痢の見方をわかりやすくしてみました。子牛の状況を見て獣医師に相談しましょう。

